



ありがとうございます。  
おかげさまでFUSOは創立60年

# FUSO REPORT

## 第60期 報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

扶桑化学工業株式会社 証券コード 4368

## 日頃より格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。 ここに2017年3月期(2016年4月1日～2017年3月31日)の 当社グループの事業概況等をご報告させていただきます。

代表取締役社長 赤澤 良太

### ■2017年3月期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善傾向が見られ、個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国をはじめとする新興国の成長鈍化や、英国のEU離脱問題、米国の新政権への移行等を起因とする金融市場や為替の不安定な動き、さらには原油の中東減産合意による価格上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは最適な経営資源の投下、物流・生産体制の継続的見直しによる経営体質の更なる強化、原料の安定的な確保およびコスト競争力の強化を進めるとともに、「FUSOブランド」のグローバル市場での確立に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は362億2千4百万円(前連結会計年度比2.6%増、9億2千5百万円増)となりました。営業利益は98億6千7百万円(同35.6%増、25億8千8百万円増)、経常利益は100億3千8百万円(同37.5%増、27億3千9百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は68億9千5百万円(同46.2%増、21億7千9百万円増)となりました。

### ■今後の展望について

当社グループの事業展開において、以下を重点的テーマとして取り組んでいきます。

#### 【ライフサイエンス事業】

2017年11月に予定されている三井化学株式会社からの鹿島工場の承継を遅滞なく完了し、2018年度中の完成を目標に同工場内にリンゴ酸の新プラント建設の準備を進めてまいります。この「果実酸コンビナート」構想の1st Stepを確実に実現し、コスト競争力の抜本的な強化を図り、世界No.1のリンゴ酸メーカーを目指してまいります。

また、少子高齢化や人口減少が続く日本市場での安定的な収益確保

だけでなく、人口増加や経済成長の著しい中国、東南アジア市場でのビジネスの拡大に注力していきます。

具体的には、中国の100%

出資子会社の青島扶桑精製加工有限公司で、従来のクエン酸類の精製に加え、市場の拡大している電子材料向け高純度クエン酸の製造等、高付加価値製品のウエイトを増やしていきます。また、人件費の高騰への対処として、生産設備の自動化によるコスト削減を進めていきます。

タイ、ベトナムを中心に加工食品市場が拡大している東南アジアにおいては、2017年4月に完成した東京研究所のテストキッチンを有効活用し、各国の食品や食材に適した食品添加物製剤の開発・製造を進め、同地域でのビジネスを拡大していきます。また、日本、中国、タイのトライアングル体制で、中国、東南アジア地域での「FUSOブランド」の確立を目指してまいります。

商品開発については、従来から進めている一次産業向け製品、食品添加物製剤の開発に加え、果実酸類の高純度品、コーティング品等の高付加価値製品の開発に注力していきます。

今後も、果実酸総合メーカーとしてこれまで蓄積してきた販売チャネル、製造・開発ノウハウを最大限に活用し、さらなる売上および利益の拡大に尽力してまいります。

#### 【電子材料および機能性化学品事業】

継続的な成長が遂げられるよう、事業の中核となる半導体分野において、より一層の深耕を行うとともに、ケイ素化学を基軸として多方面への事業展開を推進します。半導体分野では微細化、高集積化が益々進んでおり、それらのニーズに対応した製品開発を続けていきます。また、来るべきシングルナノ線幅加工に対応すべく当社の知識・技術を結集して、





設備改造を実施し、さらに旺盛な需要に対応するために新規設備の建設も進めており2018年度下期には本格稼働する予定としております。

将来を見据えて新分野(半導体研磨以外)への製品開発につきまして、東京研究所での研究開発を加速させるために増床、増員を実施し、

当社グループのコア技術である超高純度コロイダルシリカの合成技術を活かしたシリカナノパウダー関連で新製品開発を進めています。数年内に半導体研磨分野以外での売上40億円以上を目指します。

2017年6月

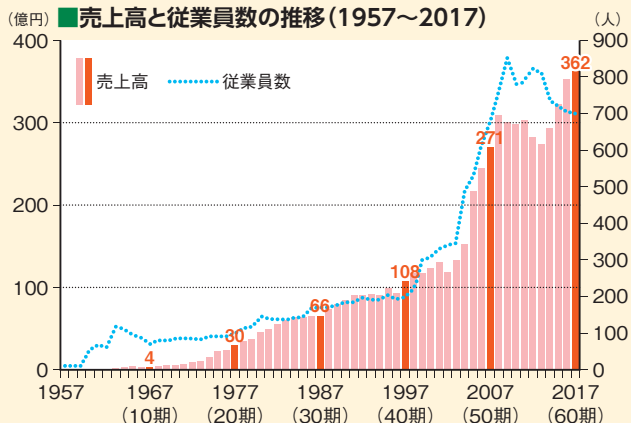


## おかげさまでFUSOは創立60年

創業者は当時弱冠29歳の赤澤庄三。昭和32年(1957年)6月24日に、資本金200万円、従業員6名で会社のスタートを切りました。会社名は「扶桑化学工業株式会社」。扶桑とは「太陽の出る所」で「日本の別名」の意味もあります。



昭和32年 扶桑化学工業旧本社工場(大阪府)



創立から5年たった昭和37年のある日のこと、「わが社に、ある化合物の在庫がたくさんある。安く提供するから何か作ってみたいか」、ひよんな事からそんな話が舞い込みます。赤澤は閃きます。当時、たくさんの人々に親しまれていた粉末ジュースの原料に使えるのではないかと。「よし、やってやろう」彼はすぐさま仲間たちと研究を始めました。現在では国内唯一のメーカーとなったFUSOの看板製品「リンゴ酸」誕生の瞬間です。

以来、FUSOは次々と新しい製品の開発とその応用を手がけます。リンゴ酸誘導体、イソブチレン誘導体、クエン酸、クエン酸誘導体、コロイダルシリカ…そしてそのつど生み出され、磨かれる数々の技術や知識が互いに刺激あい、相乗効果でさらに新しい製品や応用品、技術を創造し

続けて行く…。果実酸が食品だけでなく、農業、工業、精密産業へとその活躍のフィールドを拡大していったこともほんの一例に過ぎません。このようにして次々と生み出されるFUSOが誇る様々な高品質製品群は、ありとあらゆる産業界を巻き込んで、まるで緻密に張り巡らされたクモの巣のように拡がり、世界中の多くの市場で揺るぎない地位を確立してきました。

現状にとどまらない、常に前進というスタンスで、FUSOは今後もキラリと輝く製品を生み出し続けてまいります。



昭和32年 一番右が赤澤ファウンダー名誉会長▲



**ライフサイエンス事業**の業績は、外部顧客に対する売上高が220億5千万円(前連結会計年度比5.3%減、12億3千5百万円減)、営業利益は39億7千9百万円(同12.4%増、4億3千8百万円増)となりました。

リンゴ酸等の果実酸類の販売は好調に推移しましたが、円高が海外子会社の円換算売上高および外貨建て売上高に大きな影響を与え、売上高は前連結会計年度を下回りました。営業利益は、海外子会社の利益に対する円高の影響がありましたが、石油化学製品の価格下落、ならびに円高効果により、果実酸の原材料価格および商品輸入価格が下落したほか、継続的に取り組んでいるコスト削減が利益率の向上に貢献したことにより、前連結会計年度を上回りました。

## LIFE SCIENCE

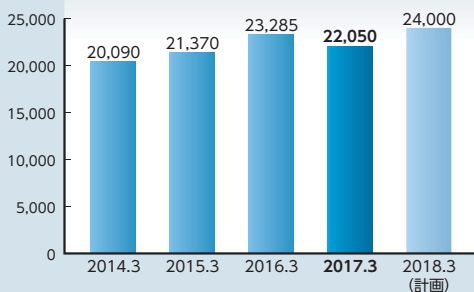


### ●事業内容

リンゴ酸やクエン酸等の果実酸を含む有機酸全般およびそれらを混合した製剤等の応用開発商品の製造・販売・開発を担っているのが「**ライフサイエンス事業**」です。リンゴ酸は国内唯一の製造会社として、国内はもとより世界市場でも高い販売シェアを占めています。また、クエン酸・グルコン酸においても、日本のトップメーカーとしての地位を確固たるものにしていきます。

2014年10月には三井化学株式会社から営業権を取得した無水マレイン酸、フマル酸等の有機酸も加わり、ライフサイエンス事業の基盤は強固なものとなっています。これらの商品は、食品加工から電子材料分野まで幅広い分野で使用されており、その市場はアジアを中心に拡大しています。中国・タイに製造・販売・開発拠点を持つ当社グループの強みを活かし、成長市場へ経営資源を集中することにより、今後も更なる発展・成長を続けていきます。

### ライフサイエンス事業 売上高 (単位:百万円)



売上高の比率  
(連結)

ライフサイエンス事業 **60.9%**  
220億5千万円



**電子材料および機能性化学品事業**全体の業績は、外部顧客に対する売上高が141億7千4百万円(前連結会計年度比18.0%増、21億6千百万円増)、営業利益は69億9千6百万円(同49.1%増、23億2百万円増)となりました。

円高により外貨建て売上高は大きな影響を受けましたが、半導体市場が引き続き堅調であり、半導体製造プロセスの微細化の進展により当社製品「超高純度コロイダルシリカ」への需要も増加しています。さらにナノパウダー等の半導体研磨分野以外に使用される製品の販売も堅調に推移したため、売上高は前連結会計年度を上回りました。営業利益は、下期の設備投資に伴う生産停止が製造原価に影響を与えたものの、コスト削減や販売数量の増加により、前連結会計年度を上回りました。



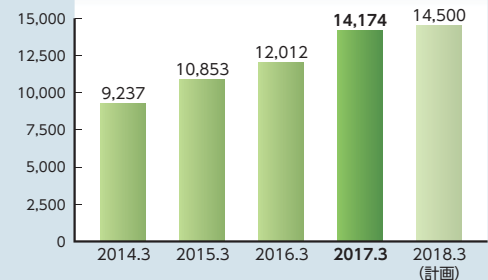
●事業内容

当社グループのもうひとつの柱である「**電子材料および機能性化学品事業**」の製品群の多くは、半導体業界に必要な製品として使用されています。1987年にシリコンウエハの精密研磨剤向けに製品化した純度99.9999%の「超高純度コロイダルシリカ」は、シリコンウエハの精密研磨剤原料としてトップシェアを誇っています。更にその技術はナノレベルの精度が要求されるCMP(化学的機械的平坦化)分野でも、メモリやCPUなどの多層化・高集積化に活かされています。最近は、粒子の微細性と均一性、粒子形状と表面修飾の自在性を活かし、電子情報機器向けのナノフィラー、樹脂添加剤など様々な用途にも採用されています。その需要はさらに拡大しており、これらに万全な体制で応えるため、生産拠点である「京都第一工場」、「京都第二工場」の改造・拡充を進めています。2017年4月には新規設備の建設に着手しました。また、2013年7月に開設した東京研究所につきましても増床・増員を行ない半導体研磨分野以外への製品の開発を進めています。一方、ライフサイエンス事業の技術をもとに製造される「超高純度クエン酸溶液」などの高純度有機酸は、シリコンウエハ洗浄剤等の半導体分野でもその用途を拡大しています。

ELECTRONIC MATERIALS  
&  
FUNCTIONAL CHEMICALS



**電子材料および機能性化学品事業**  
売上高(単位:百万円)



**39.1%** ●電子材料および機能性化学品事業  
141億7千4百万円



# 連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目         | 当連結会計<br>年度末<br>(2017年3月31日現在) | 前連結会計<br>年度末<br>(2016年3月31日現在) |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                                |                                |
| 流動資産        | 41,349                         | 34,221                         |
| 現金及び預金      | 24,471                         | 17,709                         |
| 受取手形及び売掛金   | 9,726                          | 9,424                          |
| 商品及び製品      | 4,800                          | 5,039                          |
| 仕掛品         | 175                            | 173                            |
| 原材料及び貯蔵品    | 933                            | 821                            |
| 繰延税金資産      | 394                            | 439                            |
| その他         | 846                            | 614                            |
| 固定資産        | 15,235                         | 13,937                         |
| 有形固定資産      | 13,272                         | 12,084                         |
| 建物及び構築物     | 5,691                          | 5,934                          |
| 機械装置及び運搬具   | 2,162                          | 2,668                          |
| 土地          | 3,066                          | 3,067                          |
| 建設仮勘定       | 1,934                          | 2                              |
| その他         | 417                            | 411                            |
| 無形固定資産      | 284                            | 292                            |
| 投資その他の資産    | 1,678                          | 1,560                          |
| 投資有価証券      | 861                            | 710                            |
| 長期前払費用      | 29                             | 20                             |
| 繰延税金資産      | 557                            | 608                            |
| その他         | 229                            | 220                            |
| <b>資産合計</b> | <b>56,585</b>                  | <b>48,158</b>                  |

| 科 目            | 当連結会計<br>年度末<br>(2017年3月31日現在) | 前連結会計<br>年度末<br>(2016年3月31日現在) |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <b>負債の部</b>    |                                |                                |
| 流動負債           | 9,297                          | 5,780                          |
| 支払手形及び買掛金      | 2,852                          | 2,060                          |
| 未払法人税等         | 1,751                          | 1,380                          |
| その他            | 4,692                          | 2,339                          |
| 固定負債           | 2,127                          | 2,407                          |
| 退職給付に係る負債      | 1,592                          | 1,554                          |
| 繰延税金負債         | 395                            | 377                            |
| その他            | 139                            | 476                            |
| <b>負債合計</b>    | <b>11,425</b>                  | <b>8,188</b>                   |
| <b>純資産の部</b>   |                                |                                |
| 株主資本           | 43,559                         | 38,194                         |
| 資本金            | 4,334                          | 4,334                          |
| 資本剰余金          | 4,820                          | 4,820                          |
| 利益剰余金          | 34,408                         | 29,043                         |
| 自己株式           | △4                             | △3                             |
| その他の包括利益累計額    | 1,594                          | 1,770                          |
| 非支配株主持分        | 6                              | 5                              |
| <b>純資産合計</b>   | <b>45,160</b>                  | <b>39,970</b>                  |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>56,585</b>                  | <b>48,158</b>                  |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目             | 当連結会計年度<br>(2016年4月 1日から<br>2017年3月31日まで) | 前連結会計年度<br>(2015年4月 1日から<br>2016年3月31日まで) |
|-----------------|---|---|
| 売上高             | 36,224                                    | 35,298                                    |
| 売上原価            | 19,965                                    | 21,331                                    |
| 売上総利益           | 16,258                                    | 13,967                                    |
| 販売費及び一般管理費      | 6,391                                     | 6,688                                     |
| 営業利益            | 9,867                                     | 7,279                                     |
| 営業外収益           | 186                                       | 107                                       |
| 営業外費用           | 15  | 86  |
| 経常利益            | 10,038                                    | 7,299                                     |
| 特別利益            | 1   | 104                                       |
| 特別損失            | 51  | 226                                       |
| 税金等調整前当期純利益     | 9,989                                     | 7,178                                     |
| 法人税等            | 3,092                                     | 2,461                                     |
| 当期純利益           | 6,896                                     | 4,717                                     |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 1   | 1   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,895                                     | 4,716                                     |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目              | 当連結会計年度<br>(2016年4月 1日から<br>2017年3月31日まで) | 前連結会計年度<br>(2015年4月 1日から<br>2016年3月31日まで) |
|------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,413                                     | 8,086                                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 4,983                                     | △6,943                                    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,533                                    | 4,845                                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △92                                       | △296                                      |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 12,771                                    | 5,692                                     |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 11,214                                    | 5,521                                     |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 23,985                                    | 11,214                                    |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

### Point 1

(連結貸借対照表)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ84億2千6百万円増加し、565億8千5百万円となりました。これは主に、現金及び預金、建設仮勘定が増加したためです。負債については、前連結会計年度末に比べ32億3千6百万円増加し、114億2千5百万円となりました。これは主に設備投資に伴う未払金が増加したためです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ51億8千9百万円増加し、451億6千万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金が増加したためです。

### Point 2

(連結損益計算書)

当連結会計年度において、当社主力製品の販売は国内・輸出ともに好調に推移し、3期連続で売上高・利益ともに過去最高を達成しました。

前連結会計年度に比べて円高に推移したため、海外子会社財務諸表の数値は、円換算でマイナスの影響を受けましたが、円高や原油安による輸入原材料価格の下落に加え、販売価格改定、効率化、各種コスト削減に努めた結果、前連結会計年度を大きく上回る利益を達成しました。

### Point 3

(連結キャッシュ・フロー計算書)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物は、借入金の返済がなくなったこと、および定期預金の払い戻しが多かったため、前連結会計年度末に比べ127億7千百万円増加し、239億8千5百万円となりました。

# 業績ハイライト(連結)

■売上高 (単位：百万円)



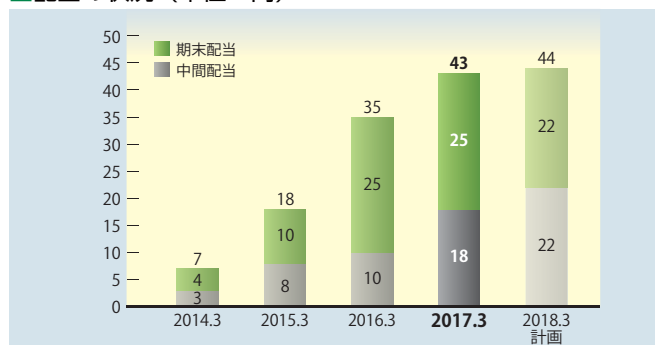
■営業利益 (単位：百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



■配当の状況 (単位：円)\*



## 業績の推移

|                       | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 (計画) |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|---------------|
| 売上高 (百万円)             | 29,327   | 32,223   | 35,298   | 36,224   | 38,500        |
| 営業利益 (百万円)            | 3,539    | 5,426    | 7,279    | 9,867    | 10,050        |
| 経常利益 (百万円)            | 3,586    | 5,524    | 7,299    | 10,038   | 10,100        |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 2,258    | 3,452    | 4,716    | 6,895    | 6,950         |
| 償却前営業利益 (百万円)         | 5,384    | 7,573    | 9,077    | 11,209   | 11,820        |
| 1株当たり当期純利益 (円)*       | 71.68    | 109.57   | 143.76   | 194.22   | 195.75        |

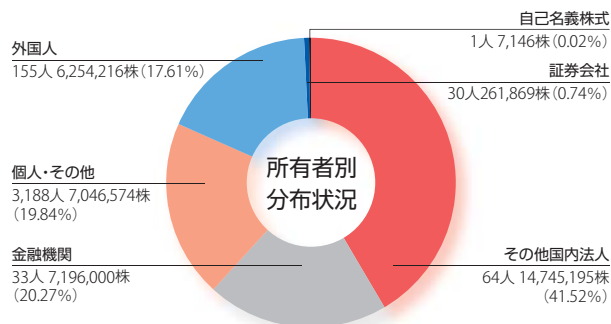




## ■株式の状況 (2017年3月31日現在)

- 発行可能株式総数：95,000,000株
- 発行済株式の総数：35,511,000株  
(自己株式が7,146株含まれています。)
- 株主数：3,471名

## ■株主の分布 (2017年3月31日現在)

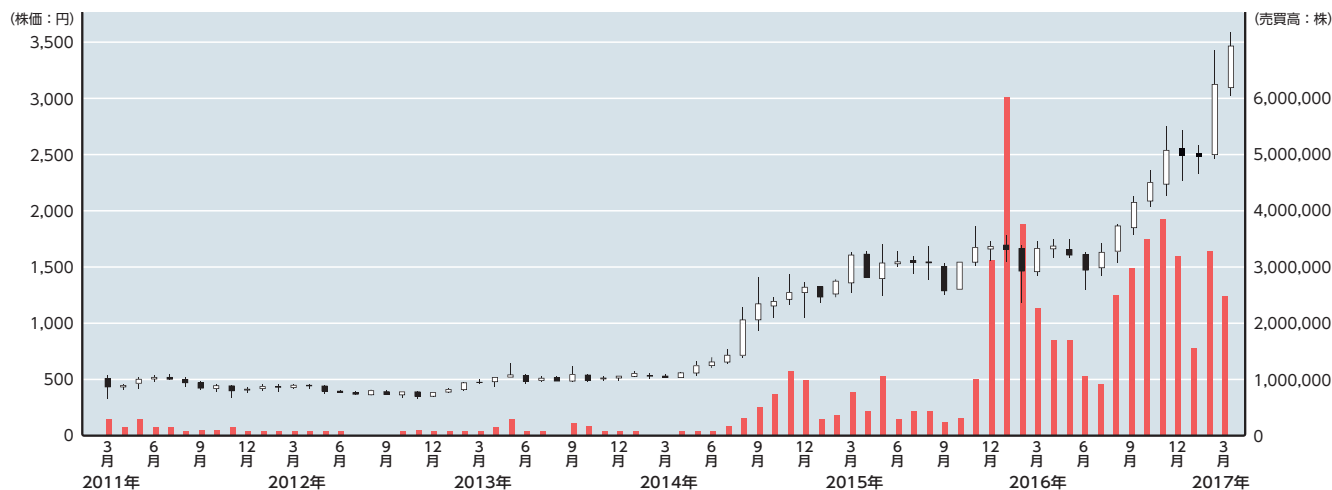


## 大株主 (2017年3月31日現在)

| 株主名                                    | 持株数       | 持株比率   |
|--|-----------|--------|
| 株式会社壽世堂                                | 5,596,265 | 15.76% |
| 帝國製薬株式会社                               | 3,328,000 | 9.37%  |
| 赤澤 庄三                                  | 3,085,965 | 8.69%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)              | 1,861,300 | 5.24%  |
| 大阪中小企業投資育成株式会社                         | 1,500,625 | 4.23%  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                | 1,396,600 | 3.93%  |
| 有限会社帝産                                 | 1,375,000 | 3.87%  |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND | 1,286,200 | 3.62%  |
| 株式会社日本触媒                               | 1,186,500 | 3.34%  |
| 株式会社りそな銀行                              | 792,500   | 2.23%  |

・持株比率は、自己株式数を控除して計算しています。

## ■株価の推移※



※2014年10月1日付の株式分割(1:5)に伴い調整を行っています。

## 会社概要

- 商号 扶桑化学工業株式会社
- 創業 1952年(昭和27年)
- 設立 1957年6月24日(昭和32年)
- 資本金 43億3,404万7,500円
- 本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号  
(日生伏見町ビル新館5階)  
TEL.(06)6203-4771(代)
- 東京本社 東京都中央区日本橋小舟町6番6号(小倉ビル7階)
- 事業所
  - 新大阪事業所 大阪府大阪市淀川区新高二丁目6番6号
  - 京都事業所
    - 京都第一工場 京都府福知山市長田野町一丁目5番地
    - 京都第二工場 京都府福知山市長田野町二丁目8番地
  - 福岡営業所 福岡県柳川市三橋町下百町42番地1  
(荻島第5ビル3階)
  - 東京研究所 神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号  
かながわサイエンスパークR&D棟 A206
  - 大阪工場 大阪府堺市西区築港新町三丁目27番地10
  - 十三工場 大阪府大阪市淀川区野中北二丁目10番30号
- 主要子会社(国内) 株式会社扶桑コーポレーション
- 主要子会社(海外)
  - 青島扶桑精製加工有限公司(中国)
  - 扶桑化学(青島)有限公司(中国)
  - PMP Fermentation Products, Inc.(アメリカ)
  - FUSO (THAILAND) CO., LTD.(タイ)

## 役員

(2017年3月31日現在)

### ■名誉会長および取締役

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| ファウンダー 名誉会長           | 赤澤庄三  |
| 代表取締役社長               | 赤澤良太  |
| 常務取締役<br>(管理本部長)      | 榎本修三  |
| 取締役<br>(電子材料事業部長)     | 政氏晴生  |
| 取締役<br>(ライフサイエンス事業部長) | 谷村隆史  |
| 取締役                   | 藤岡実佐子 |
| 取締役                   | 多田智美  |
| 取締役                   | 江黒早耶香 |

### ■監査役

|       |      |
|-------|------|
| 常勤監査役 | 武川隆彦 |
| 常勤監査役 | 赤澤敬敏 |
| 常勤監査役 | 中永吉信 |
| 監査役   | 木下善樹 |

### ■執行役員

|  |      |
|--|------|
| 執行役員   | 中司哲浩 |
| <small>(ライフサイエンス事業部 営業開発部 福岡営業所長<br/>兼 株式会社扶桑コーポレーション 代表取締役社長)</small> |      |
| 執行役員   | 榎本源樹 |
| <small>(ライフサイエンス事業部 営業開発部長)</small>                                    |      |



- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月末日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) ☎0120-782-031  
 (インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しています。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

- 公告の方法 電子公告とする(<http://www.fusokk.co.jp/>)
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部

#### 【利益配分に関する基本方針及び配当】

当社は、剰余金の処分につきましては、長期にわたり安定的に株主の皆様へ報いるという基本方針のもと、企業体質の強化ならびに今後の事業展開を勘案して行うこととしております。

第60期の期末配当金につきましては、創立60周年記念配当5円を実施するとともに、当期の業績を踏まえ、普通配当を前期と比べ5円増配して20円とし、合わせて1株につき25円とさせていただきます。これにより既の実施済みの中間配当18円を加えた年間配当金は、1株につき43円となります。次期の年間配当金につきましては、1株につき44円(うち、中間配当22円)を予定しています。

**FUSO**  扶桑化学工業株式会社

<http://www.fusokk.co.jp/>

**VOC**  
**FREE** T&K

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの  
インキを使用して印刷しました。

